

草津市都市計画審議会の結果について

1. 開催日時 平成29年3月30日（木）
午後2時00分～午後3時39分
2. 開催場所 草津市役所4階 行政委員会室
3. 付議案件
議第1号 都市再生整備計画事業（旧草津川周辺地区）事後評価について
4. 審議結果
議第1号 承認する
5. 出席委員数 14名中11名

6. 開会の挨拶 [田邊都市計画部長]

日頃は、本市行政とりわけ都市計画行政に格段の御協力と御指導を賜りまして、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。本日の審議案件につきましては、「都市再生整備計画事業（旧草津川周辺地区）の事後評価について」でございます。

何とぞよろしく御審議賜りますようよろしくお願い申し上げますが、開会の挨拶とさせていただきます。

7. 審議経過のうち主な発言の内容

(1) 議第1号

○ 草津川跡地の整備について、残りの区間3、4、6については国からの資金援助はあるのか、また予算がなければ白紙になるのか教えて下さい。

→ 区間3、4、6については、国のどのような支援を受けて整備をするかということはまだ決まっておりません。区間2と5を整備させていただいた時点で、地域の方々の御意見をいただきながら詳細設計に活かしていきたいと考えております。

○ 区間3、4、6の整備は、どれくらいの目途で進めていこうと考えておられますか。

→ 周辺地域の方々の御意見も賜りながら進めていこうと考えておりますので、具体的な目標年次は決まっておりませんが、速やかに順次整備をさせていただきたいと考えております。事業着手をした場合、おおむね5年間で事業期間ということになります。5年というのは、地域の方々の御意見を聞き整備内容の計画を固めた上で国に申請を

し、国からの採択を得た時点から1年目が始まるという考え方でございます。次の工区ですが、区間6である国道1号線付近から新幹線のところまでを現在地域の方々の御意見を賜っている状況です。

○ 区間5については4月にイベントがあり供用開始されるということですが、区間2の供用時期についてはどのようになっていますか。

→ 区間2については、公園とその公園の中に民間事業者様で整理および管理をしていただくエリアがあります。今回の開園は4月1日からとなりますが、民間事業者様のエリアであるA、B、CエリアのうちAとBエリアが夏を目標に準備をされている状況です。

○ 区間2は現在立ち入り禁止になっていますが、4月になれば一部は入ることができるようになるということですか。

→ 区間2の右岸側には道、左岸側には自転車道と歩行者道を作っており、この道路につきましては4月1日から供用を開始させていただくということになります。次に公園部分につきましては、民間事業者様のエリア以外に浜街道付近に交差点広場、学校ゾーン、農園等があります。現在、交差点広場、活動棟、多目的広場は工事完了致しました。ただし、芝生の養生期間であるため多目的広場のご利用については夏頃を予定しております。

○ 旧草津川に接続する道路の歩行者数の調査について、前回は平成27年8月26日に実施されたようですが、新年度に調査をする日程等は決まっていますか。

→ 例年同じ時期になっていますので次年度も8月頃を予定しております。

○ 供用開始によって市民1人当たりの避難スペースが増加するということがありますが、人口増加によって1人当たりの避難スペースの指標、目標値を達成できないという可能性があると思います。その点についてご説明いただきたいです。

→ 草津市の人口は、平成22年度は5,100人で平成29年2月末現在6,182人と計測をしております。1年間で伸びる率を見ても目標値である3.3は下回ることはないの見込みを立てており、おおよそ3.8から3.7になるのではないかと考えております。

○ 都市再生整備計画の将来ビジョンについてどういったことを考えておられるかお聞かせ下さい。

→ 今回の草津川跡地整備事業は都市再生整備計画の柱になります。平成24年から草津川跡地整備事業のワークショップを行っており、この目的は市民さんの御意見を直

接聞きながら設計に反映するだけでなく、その後の管理や運営も市民さんに参加していただくことで、市だけではなく市民さんと共に担っていくということです。また、草津川跡地公園を防災空間と位置づけ、避難地域や避難路としての役割も担っています。同じような公園整備ではなく、区間ごとに特色やテーマ性を持たせた中で整備していきたいと考えております。また、市内外から寄っていただきそれが賑わいに繋がればという思いの中で計画を立てております。

(2) その他

- 草津川跡地公園や草津宿本陣に行きたくても行く手段がないという高齢者の方の声を聞きます。例えば、志津や老上など人口の増えた地域から草津川跡地公園や草津宿本陣への直通バスや循環バスを運行する等、堤防から人を呼び込んで本町を回るという人の循環を作ることができるような政策を考えていただきたいです。
- 草津宿本陣や草津川跡地公園に直通のバス便というのは、難しい状況であると思いますが周辺地域から草津駅や南草津駅に出て行けるような計画を立てております。その中で、草津駅近くの*n i w a +*（ニワタス）については、*n i w a +*（ニワタス）一箇所だけで帰っていただくのではなく回遊性を考えております。例えば、*n i w a +*（ニワタス）から草津川跡地公園に、次は本陣に行っていただくというような回遊性を求める計画を立てております。

- 近年、東海道を歩くことがブームになっていますが、本陣の前を素通りされる団体さんが多くいらっしゃいます。PRをするなどして本陣に立ち寄ってもらえるような方法を考えられたらいかがですか。
- 計画段階ではございますが、景観事業で大津と草津は連携しており、大津にも草津にも本陣があることからサイン計画を考えております。現在大津と協議をしている段階でございます。

- 草津川跡地の整備により、避難区域が広がり防災、災害時に避難ができる空間はできましたが、周辺地域から草津川跡地公園への災害時の動線を今後改善してほしいと思います。